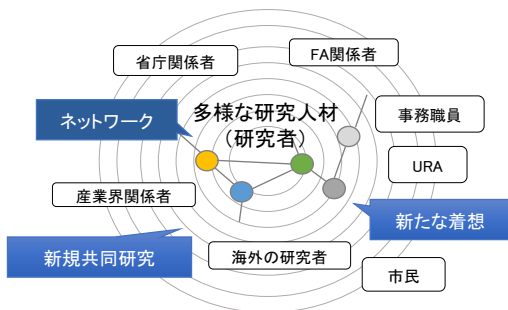


学内の研究人材の多様性を活かすために、様々な集まりの場の設定や研究者のマッチングを行う。



## 本事業のポイント

新たな着想を得る・ネットワークを構築するなど、研究の可能性をふくらませる段階から、実際の共同研究プロジェクト立上げ段階まで、多様な方策によりURAが幅広く支援。



## 取組実績

### ① 分野/立場/組織/セクターを超えた交流・議論の場の創出



異分野交流会「アカデミックパール」  
平成26年3月立上げ、豊中・吹田キャンパスで計5回開催(参加者各30名程度)

学内外の教職員等が共に学ぶ  
「学術政策セミナー」

平成25年3月立上げ、計13回開催  
学内外の教員・事務職員・URA、行政・資金配分機関関係者等、延べ約400名が参加



分野/立場/組織を超えて議論する  
「人文・社会科学系研究推進フォーラム」  
平成26年12月立ち上げ、大阪大学等で計3回開催。参加者数は延べ200名程度

民間企業・市民と人社系教員の対話プログラム  
「二頁だけの読書会」  
平成25年12月立上げ、8回開催、参加者各30名程度

### ② 特定のテーマによる研究会・勉強会の開催

学内教員・URAなどが学び合う  
「トップダウン型外部資金勉強会」  
平成28年12月、吹田キャンパスで開催  
学内の複数分野の教員、URAなど約30名が参加

「人文・社会科学系研究から考える  
中小企業の経営課題」研究会  
平成28年8月、豊中キャンパスで開催  
民間企業関係者・学内の複数分野の教員、URAが参加

### ③ 新たな研究プロジェクト立上げ支援



URAによる研究者マッチング等  
平成27年度～継続中  
海外の大学のURA等と本学のURAとが両大学の研究者のマッチングを行い、国際共同研究プロジェクトの立上げを支援 等



## 得られた成果

- 「分野/立場/組織/セクターを超えて交流したい」「新たな取組に挑戦したい」というニーズに応えるための多様な機会を整備
- URAによる研究者マッチングにより国際共同研究の資金獲得等に成功



## 今後の課題

- 集まりの場の定例化による取組の拡大
- URAによる研究者マッチング機能の強化

研究人材の多様性を活かした研究力強化